

2024年 月 日
NPO法人 菊馬会
事務局 大出嘉代

R5年度 市民がおこすまちづくり事業報告書

表記の件につきまして、下記の通りご報告申し上げます

①事前調査と説明会の実施

菊間町の自然環境にあった馬との関わり方について、地域の住民から意見を聞き、観光地などを巻き込み、具現化できていない場所の確認及び安全面の調査を行いました。

海には入った事がない馬の馴致を行い、波が嫌いな馬にも時間をかけ、馴致し(慣らし)ていきました。

日時: 令和5年8月13日

場所: 菊間町浜

使用馬名: イブキゴルデルゼ・オースミイーグル・スケッチブック・メーテルリンク

従事者: 7名

内容: 挨拶・初めての馬の馴致・浜辺の乗馬体験・馬と泳ぐ

参加人数: 20名

対象者: 馬好き・支援者様・地域の方々 など



海には入った事がない馬・波が嫌いな馬にも時間をかけ、馴致し(慣らし)ていきました。

浜辺で乗馬体験を行う。

馬主も一緒になり、馬と泳ぎました。

これは、皆様にすごく喜んでいただきました。

* 馬は暑さに弱い状態でしたが、海での外乗の企画を考えていきたいと思っています。

②プログラム構築

○教育・福祉面：近場の公園へのコース設計を行い、放課後児童クラブのプログラム化。



○事業継承・文化面：加茂神社、かわら館、海浜公園へのコース設計を行い、地域文化と連携したプログラム化



○観光利用：歌仙の滝コース等、観光来訪者等の散策となるプログラム化



③乗馬体験会の実施

小中学校だけではなく、親子など老若男女の乗馬体験会を実施する。乗るだけではなく世話をすることで、馬との信頼関係ができ、意思疎通ができるようになるそれぞれのプログラムにあった体験会の実施を行う。

1) 餌やり



2) 馬房掃除



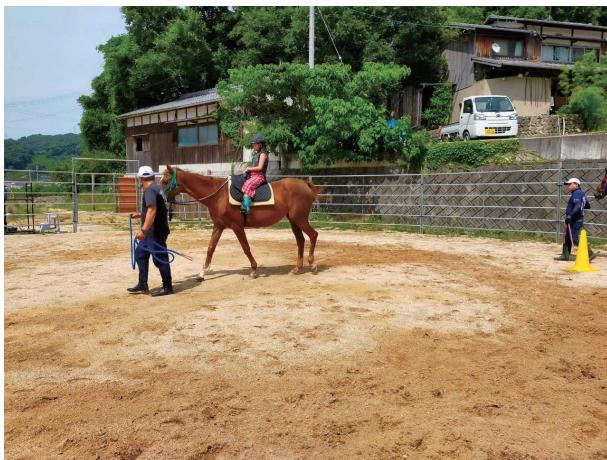
3) ブラッシング



4) 引き馬



5) 引き馬乗馬



6) 乗馬



日時: 令和5年9月18日

場所: 菊間町池原小が丸広場公園

使用馬名: イブキゴルデルゼ・オースミイーグル・スケッチブック・メーテルリンク・カネショーシーズー

従事者: 23名(加計学園馬術部、社員、子供達のお手伝い)

内容: 挨拶・乗馬経験者の外乗で馴致・初めての方にはサイドをつけて外乗

参加人数: 約270名(付き添いなど入場者数)

対象者: 地域の方々・広報見た方・馬好きの方 など



広報などに掲載していただきたくさんの方にお越しいただきました。

初めてのイベントで、不安もありながらの開催でしたが

老若男女たくさんの方でした。

先着ということで午前中の出足はよかったのですが、昼前からは来られる方が少なくなりました。

アンケートをした結果広報を見たという方は、案外少なく、やはりSNSの方や口コミが多かったように思いました。

多くの馬がいて圧巻でした。楽しい1日でしたと喜んでいただけました。

○事業継承・文化面：加茂神社、かわら館、海浜公園へのコース設計を行い、地域文化と連携したプログラム化



加茂神社で参拝・資料館やかわら会館などで(宮司さんや関係者のお話)を聞いたり、意見交流を行うことで菊間町の魅力がわかっていただけると確信しております。
またその後の浜辺での乗馬体験など非日常的な空間をお届けしていきたいと考えました。



○観光利用:歌仙の滝コース等、観光来訪者等の散策となるプログラム

日時:令和5年11月19日

場所:高田丸馬場から歌仙の滝周辺・霧合の滝

使用馬名:イブキゴルデルゼ・オースミイーグル・スケッチブック・メーテルリンク・カネショーシー
ズー・チルアウト

従事者:12名

内容:挨拶・乗馬経験者の外乗で馴致・初めての方にはサイドをつけて外乗

参加人数:16名

対象者:加計学園馬術部・乗馬経験者・馬好き・支援者様・地域の方々 など



限定参加者として、乗馬経験者に多く参加いただき、馬と馬主らで安心な外乗のあり方を道中で、話をしながら進めていきました。

ちょうど良い距離・時間などで楽しく乗馬を体験できたと喜んでいただきました。また子供さんは、小さい馬には乗ったことがあるが、サラブレッドは初めてでしたが、楽しかったとの感想でした。

④人材育成

ホースセラピーの研究、普及、開発を行う。

今後の課題として馬を安心安全に配慮して取り扱う為の人材育成を行う。子どもも大人も乗せる時のお手伝いをするサイドウォーカーのスキルアップを行う。

また、体験会を地域の多様なステークホルダーと共有することで新しい分析を行う事ができ、人材育成に繋げていく。



人材育成に関して、たくさんの専門家の方々にご指導をいただき、安心安全に馬との関わり方の方法を飼育、お手入れ、サイドウォーカー、乗馬などについてご指導いただいております。また今回のイベント等に参加した方も、馬友や馬と関わりたいという輪が広がってきています。今後はもっと踏み込んだ人材育成の研修会を行います。

○教育・福祉面：近場の公園へのコース設計を行い、放課後児童クラブのプログラム化。

小学生の参加で、餌やりから乗馬まで授業の一環で行いました。

自信のない子どもが、馬に関わることで、運動も頑張り、馬の好きな物なども調べ、馬との関わりを持ってくれました。数ヶ月でしたが、楽しかったと、周りの関係者の方にも顔つきが変わってきたと良い報告をいただきました。

放課後児童クラブとの今後のプログラム化に役立てていきたいと考えています。

人材育成に関して、菊間町における馬の飼育方法などについて、地域の方でも現状を把握していない状況でした。

今回の事業では、馬の世話がしたい・馬と一緒に住みたいという方が多数いる事が分かりました。

今後の課題にしていき、継承につながると確信致しました。

かわら会館での講習会や話し合いを行い、学生から馬好き女子など幅広い方々の意見を聞くことができました。

- ①外乗の金額設定
- ②今後馬との関わり方の希望は
- ③その他希望があれば

などアンケート回答していただきました

今回の外乗大満足

騎乗料は丸馬場から歌仙の滝まで一人5000円

歌仙の滝のみ3000円くらい

また時間にしたら1時間10,000くらいなどの案もありました

実際見て触れてみると、馬との生活は憧れますが、いざ飼うとなると費用や場所、時間的にハードルが高いのかなと思います。

菊間町は松山や今治から比較的アクセスしやすいので、ファンクラブみたいなのがあれば、会費やボランティアスタッフ等、町を盛り上げていくためにお手伝いできることがあれば積極的に携わりたいです。

お供馬や菊間瓦といった伝統、競走馬のセカンドライフ、田舎での癒し等町の魅力を発信して仲間の輪を広げれば、移住を考えている方の目に留まるかもしれません。(お友馬・人馬一体のまち)

お金を集めるなら、話し合いで言っていたように、競馬で行っている一口馬主的は方法がいいかなと思いました。

などなどたくさんの提案をいただきました。



今回の事業では多くの方、本当に馬好きの方が、愛媛県今治市内にもたくさんの方がいる事が分かりましたが、お供馬の走り込み行事を知らない人がまだまだ多くいて、お祭りにきたことがないという方も多く、認知されていないと悲しい結果でした。

しかし、一方では多くの方に興味を持っていただけてるという確信もあり今後の活動に繋げていけると確信しております。

今後はもっともっとスキルアップを行い、アピールし続け、地域貢献を行っていきます。

その為には、地域企業とのタイアップを目指し宣伝効果を構築していくことを今後の課題したいと思います。